はじめに

CRXP-90MUには、次の特長があります。

- □ “ メモリースティック ”スロットが搭載されています。
- □ バッファーアンダーランエラーの発生を防ぐ、Power-Burn。テクノロジーが搭載されています。
- □ CD-Rディスクに最大24倍速で書き込むことができます。
- □ CD-RWディスクに最大10倍速で書き込むことができます。
- □ CD-ROMディスクを最大24倍速で読むことができます。
- □ DVD-ROMディスクを最大8倍速で読むことができます。
- □ 持ち運びに便利な小型軽量設計です。
- □ 100～240 Vの電源電圧に対応した小型軽量の専用ACアダプターが付属しています。
- □ USB2.0準拠のUSBケーブルが付属しています。
- □ USB2.0準拠のシステムに接続すれば、最大読み出し速度24倍速（3600 Kバイト/s）の性能をフルに発揮することができます。

必要なシステム構成

CRXP-90MUは、次の仕様のコンピューターで使用できます。

Windows PC

- □ CPU：Pentium II 400 MHz 以上
- □ RAM：64 Mバイト以上
- □ ハードディスク空き容量：1 Gバイト以上
- □ OS：Windows 98 Second Edition（Windows 98 SE）、Windows 2000 Professional（Windows 2000）、Windows Millennium Edition（Windows Me）、Windows XP Home EditionおよびWindows XP Professional（Windows XP）（各日本語版）
- □ コンピューターにUSBコネクターがあること
- □ コンピューターにCD-ROMドライブ、またはインターネットに接続できる環境があること（Windows 98 SEまたはWindows 2000で使用する場合、ドライバソフトウェアのインストールに使用）

Macintosh

- □ PowerMac G3、G4、G4 Cube、iMac、iBook、PowerBook G3、G4
- □ OS：MacOS 9.0.4、9.1、9.2.1
- □ RAM：64 Mバイト以上
- □ USBコネクターがあること

ご注意

- 必要なシステム構成は、CD-RやCD-RWディスクへの基本的な書き込み動作を想定した目安です。実際にCRXP-90MUを使用するには、ここであげたシステム条件を満足し、かつライターソフトウェアで指定された条件を満たす必要があります。（ライターソフトウェアのシステム条件は、通常、ここであげた条件を上回ります。）詳細はソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
- 本機を、USB2.0 に対応して動作させる場合は、下記のシステムが必要です。
  — USB2.0準拠のUSBケーブル（本機に付属）
  — USB2.0準拠のUSBコネクターやPCIアダプターカード[1]を搭載し、かつUSB2.0 EHCIドライバソフトウェア[2]がインストールされたコンピューター

  [1] 推奨製品：Adaptec “ USB2connect ” card (AUA-3100LP)
  [2] USB2.0EHCIドライバソフトウェアは、現在市販されているUSB2.0準拠PCIアダプターカード製品などに付属しています。また、MicrosoftよりWindows XP用のUSB2.0EHCIドライバソフトウェアが公開されていますので、Windows XPをご使用の場合はこちらを利用することもできます。[3]
  [3] 詳しくは、ご使用のUSB2.0アダプター製品の発売元にご確認ください。また、Microsoft社のホームページをご覧ください。
- 従来のUSB1.1準拠の製品に接続した場合は、USB1.1で定められた転送速度を上限に動作します。
- Macintoshは、USB1.1のみ対応しています。（2002年4月現在）

各部の名称と働き

本体

1 **トップカバー**

2 **電源端子（本体背面）**
付属のACアダプターを接続します。

ご注意
付属のACアダプター以外は絶対に接続しないでください。

3 **USBコネクター**
付属のUSBケーブルを接続します。

4 **電源スイッチ**
電源を入れたり切ったり（オン/オフ）するスイッチです。

5 **マニュアルイジェクトレバー（本体底面）**
電源が入っていないときは、このレバーを矢印方向に押してトップカバーを開きます。

6 **CD/DVDビジーインジケーター**
CRXP-90MUの電源が入っているとき緑色に点灯します。CD/DVDドライブが動作しているときは橙色に点灯します。

7 **イジェクトボタン**
トップカバーを開くときに押します。

重要
動作中に誤ってトップカバーが開くことを防ぐため、CRXP-90MUは電動イジェクト機構になっています。このため、電源が入っていないときは、イジェクトボタンを押してもトップカバーが開きません。また、アプリケーションの状況によっては、イジェクトボタンを押したあと、トップカバーが開くまで1秒以上かかることがあります。万一、イジェクトボタンを押してもトップカバーが開かなくなったときは（書き込み中を除く）、本体裏面にあるマニュアルイジェクトレバーを矢印方向に押してトップカバーを開いてください。

8 **“ メモリースティック ”ビジーインジケーター**
“ メモリースティック ”内のデータを読み書きしているときに橙色に点灯します。

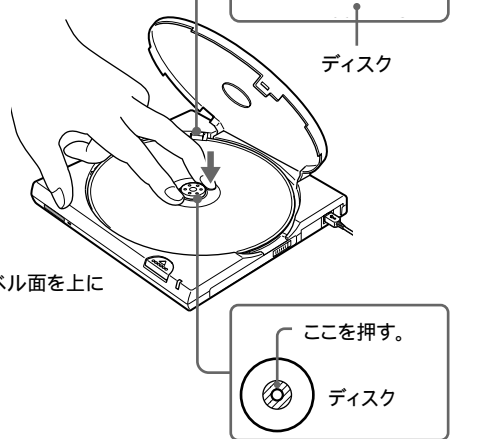
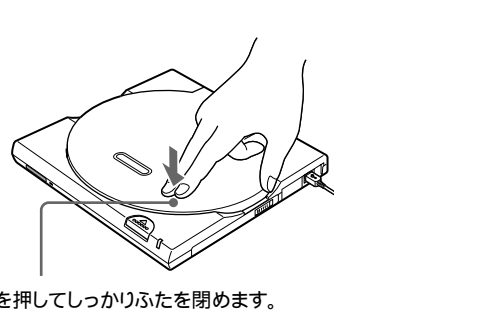
9 **“ メモリースティック ”スロット**
“ メモリースティック ”を挿入します。

ディスクの出し入れ

ディスクを入れる

1 イジェクトボタンを押してトップカバーを開ける。
トップカバーが少し開くので、手で持ち上げてください。

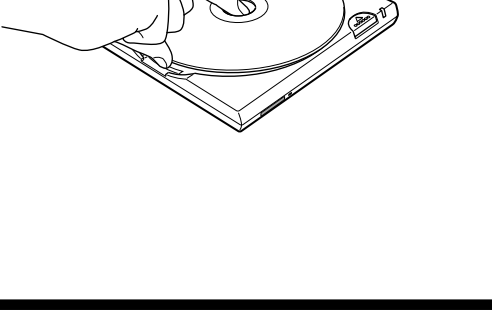
2 ディスクを入れる。
ディスクの中心を、ディスクが固定されるまで押し込みます。カチッと音がするまで確実に装着してください。このとき、無理な力を加えないでください。また、レンズに触れないように注意してください。

ご注意
ディスクは、ディスクの側面でドライブ内部の突起を押し込むようにして入れてください。また、トップカバーを閉める前に、ディスクが突起の上に乗り上げていないことを確認してください。

3 トップカバーを閉める。
ディスクのデータを使えるようになります。

ディスクを取り出す

1 イジェクトボタンを押してトップカバーを開ける。
トップカバーが少し開くので、手で持ち上げてください。

2 ディスクを取り出す。
CRXP-90MUの側面からディスクの端に指を当て、別の指でドライブ中央の凸起部を押しながらディスクを取り出します。

ご注意

- ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してから、ディスクを取り出してください。
- CD/DVDビジーインジケーターが橙色に点灯しているときは、トップカバーを開けないでください。コンピューターの操作ができなくなることがあります。

“ メモリースティック ”の出し入れ

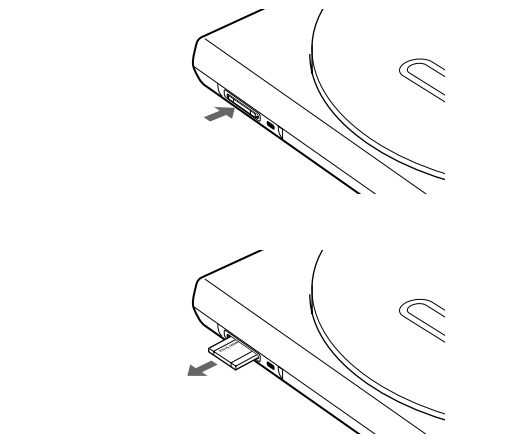
“ メモリースティック ”を入れる

1 “ メモリースティック ”を“ メモリースティック ”スロットに差し込み、奥に突き当たるまで押する。
“ メモリースティック ”がカチッと固定されるまで押し込んでください。

ご注意
“ メモリースティック ”の向きにご注意ください。誤った向きに無理に押し込むと、“ メモリースティック ”スロットや“ メモリースティック ”本体が破損するおそれがあります。

“ メモリースティック ”を取り出す

ご注意
“ メモリースティック ”ビジーインジケーターが点灯しているときに“ メモリースティック ”を取り出さないでください。“ メモリースティック ”内のデータが失われるおそれがあります。

1 “ メモリースティック ”ビジーインジケーターが点灯していないことを確認し、“ メモリースティック ”を奥に押し込む。

2 いったん手を離し、“ メモリースティック ”を取り出す。
手を離すと“ メモリースティック ”が少し出るので、引き出してください。

“ メモリースティック ”の使いかた

“ メモリースティック ”内のデータの読み書き

“ メモリースティック ”への書き込み、データの読み出しは、WindowsまたはMacintoshのファイル操作によって行うことができます。

エラーメッセージが表示された場合

“ メモリースティック ”のデータを読み込んだとき、青画面でディスク書き込みエラーとなり、「ファイルやデータが失われた可能性があります」というメッセージが表示された場合は、“ メモリースティック ”が書き込み禁止になっている可能性があります。“ メモリースティック ”の書き込み禁止タブを解除してください（下図参照）。この場合、“ メモリースティック ”のデータは失われていません。

ご注意

- “ メモリースティック ”は出荷時に最適にフォーマットされていますので、あらためてフォーマットする必要はありません。コンピューターでフォーマットすると、他の“ メモリースティック ”対応機器でアクセスできないなどの不具合が発生することがあります。
- コンピューターでフォーマットした“ メモリースティック ”を“ メモリースティック ”対応機器で使用する場合は、“ メモリースティック ”対応機器で再度フォーマットしてください。
- “ メモリースティック ”に最初から入っているファイル（MemoryStick.ind）は、“ メモリースティック ”対応機器のためのファイルです。不都合がなければ消さずにそのままご使用ください。
- “ メモリースティック ”のデフラグやドライブの圧縮は行わないでください。
- 下記の場合、記録したデータが消滅する（破壊される）ことがあります。
  – 読み込み中・書き込み中に“ メモリースティック ”を抜いたり、コンピューターの電源を切った場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- リムーバブルディスクドライブの書き込みキャッシュの設定を下記の操作でオフにしてください。オンになっていると、不具合が発生することがあります。

  Windows XPの場合
  ［スタート］ボタンー［コントロールパネル］ー［パフォーマンスとメンテナンス］ー［システム］ー［ハードウェア］タブー［デバイスマネージャ］ボタンー［ディスクドライブ］ー［SONY MEMORYSTICK CRX］ー［ポリシー］タブで、［ディスクの書き込みキャッシュを有効にする］チェックボックスがチェックされている場合は、チェックを外してください。

  Windows 2000の場合
  ［スタート］ボタンー［設定］ー［コントロールパネル］ー［システム］ー［ハードウェア］タブー［デバイスマネージャ］ボタンー［ディスクドライブ］ー［SONY MEMORYSTICK CRX］ー［ディスクのプロパティ］タブで、［書き込みキャッシュを有効にする］チェックボックスがチェックされている場合は、チェックを外してください。

  Windows 98 SE、Windows Meの場合
  ［スタート］ボタンー［設定］ー［コントロールパネル］ー［システム］ー［パフォーマンス］タブー［ファイルシステム］ボタンー［リムーバブルディスク］タブで、［すべてのリムーバブルディスクドライブで遅延書き込みを行う］チェックボックスがチェックされている場合は、チェックを外してください。

データを書き込み禁止にする

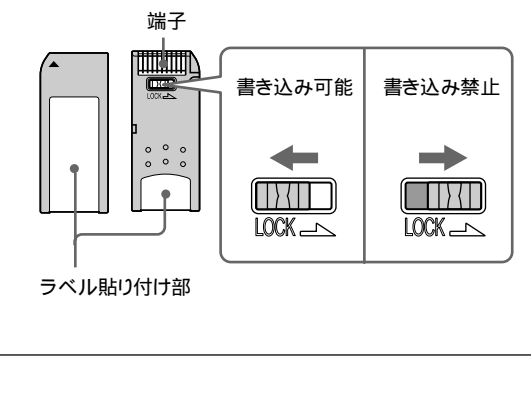
大切なデータを誤って消してしまうことのないように、“ メモリースティック ”には書き込み禁止のタブがついています。このタブを動かして、“ メモリースティック ”を書き込み可能に、あるいは書き込み禁止にできます。

書き込み可能
データの書き込みが可能な状態です。データを“ メモリースティック ”に記録したいときは、書き込み可能な状態にしておきます。

書き込み禁止
タブを矢印の方向に動かすと、書き込み禁止の状態になります。データの読み出しはできますが、書き込みはできません。データを書き込んだり、削除したくない“ メモリースティック ”を“ メモリースティック ”スロットに入れてデータを読み込むときなどには、書き込み禁止にしておきます。

“ メモリースティック ”について

“ メモリースティック ”は、小さく軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。
“ メモリースティック ”には、一般の“ メモリースティック ”、著作権保護技術（マジックゲート*）を搭載した“ マジックゲート メモリースティック ”の２種類があります。CRXP-90MUでは、“ マジックゲート メモリースティック ”と一般の“ メモリースティック ”のどちらもご使用いただけます。ただし、CRXP-90MUはマジックゲート規格に対応していないため、CRXP-90MUで記録したデータは著作権の保護の対象にはなりません。

* “ マジックゲート ”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

ご注意

- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、“ メモリースティック ”に付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。

4-665-004-**01**(1)

SONY

“ メモリースティック ”スロット搭載ポータブル
CD-RW/DVD-ROM ドライブ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

付属のソフトウェアディスクに収録されている「USB インターフェースドライブ ユーザーズガイド」には、より詳細な情報を掲載しています。この取扱説明書とあわせて参照してください。

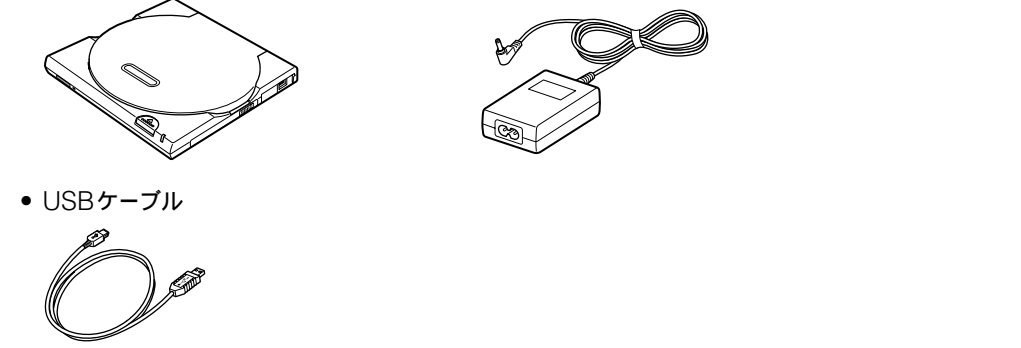
CRXP-90MU

Printed in Malaysia

付属品一覧

梱包箱から取り出したら、CRXP-90MUと以下の付属品がそろっているか確認してください。
万一、不足しているものがあったり損傷しているものがあるときには、お買い上げの販売店にご相談ください。

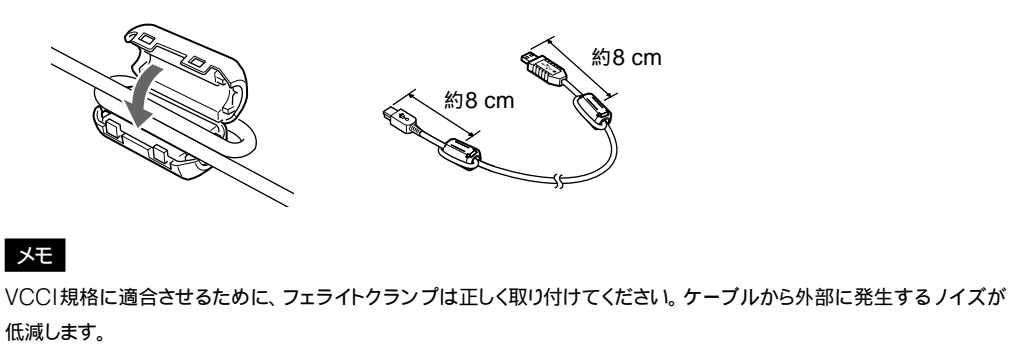
- CRXP-90MU

- ACアダプター（AC-CRX85）

- USBケーブル

- 電源コード
- 取扱説明書
- ソフトウェアディスク
- フェライトクランプ
- クイックスタートガイド
- ソフトウェアクイックスタートガイド
- 保証書

ご注意
付属のソフトウェアディスクは、必ずバックアップをとっておいてください。万一、紛失や破損した場合も、ソフトウェアディスク単体での販売はいたしかねますので、ご了承ください。

USBケーブルを接続する前に

USBケーブルの両端にフェライトクランプを取り付けます。フェライトクランプは、中央が下図の位置になるようにカチッと音がするまで閉じて取り付けます。

メモ
VCCI規格に適合させるために、フェライトクランプは正しく取り付けてください。ケーブルから外部に発生するノイズが低減します。

DVDビデオの再生とリージョンコード（地域番号）について

DVDビデオ（DVDディスク）は、リージョンコード*の設定によって、再生が保護・管理されています。
* Region Playback Control規格（RPC規格）

DVD-ROMドライブを使用してDVDビデオを再生するためには、DVDディスクに表示されたリージョンコード、DVD-ROMドライブのリージョンコード、DVDビデオ再生ソフトウエアのリージョンコードのすべてが一致している必要があります。

CRXP-90MUのDVDビデオ再生とリージョンコードについて

CRXP-90MUでは、リージョンコードの設定を、初回の設定を含め合計5回まで行うことができます（RPC Phase2規定）。CRXP-90MUのリージョンコードは、DVDビデオ再生ソフトウエアによって設定します。

重要

初回の設定を含めて5回の設定をすると、以降は、5回目に変更したリージョンコードに固定され、設定が変更できなくなります。この場合、再生できるのは、5回目に設定したリージョンコードが表示されているDVDビデオのみとなります。

ご注意

不正にリージョンコードの書き換えを行わないでください。この結果生じた不具合等については、保証対象外とさせていただきます。

DVDビデオ再生時の操作上のご注意

DVDビデオはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。CRXP-90MUではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能がはたらかない場合があります。DVDビデオを再生するときは、ディスクに付属している取扱説明書も必ずご覧ください。

コンピューターとの接続

下図のように接続します。

ご注意

- CRXP-90MUをコンピューターに初めて接続するときは、接続の前に、必ず「クイックスタートガイド」をお読みください。
- ACアダプター、電源コードは、付属のもの以外は絶対に接続しないでください。

USB接続に関するご注意

CRXP-90MUはコンピューターのUSBコネクターに直接接続してください。ハブ（キーボードのUSBハブを含む）を経由しての動作は、保証していません。

WindowsでCRXP-90MUをご使用になる方へ

CRXP-90MUをセットアップしたあと、USBケーブルのコンピューター側は、CRXP-90MUやコンピューターの電源がオンのままでも抜き差しすることができます。ただし、CRXP-90MUをコンピューターから取り外す前にタスクバーの または をクリックし、CRXP-90MUの停止の操作をすることをお勧めします。

製品サポートのご案内

CRXP-90MUの使いかたに関するご相談、本体や付属ソフトウエアに関する技術的なご質問、故障に関するお問い合わせなど、お電話でご相談になる前に、以下で提供している情報をご確認ください。

- **ユーザーサポートホームページ**
  http://www.sony.co.jp/CRXP-90MU
- **故障かな?と思ったら**
  付属のソフトウエアディスクの「USBインターフェース ドライブ ユーザーズガイド」に収録されている「故障かな?と思ったら」をご覧ください。
- **ライターソフトウェアについて**
  付属のライターソフトウェアに関する情報は、ソフトウェアの製造および販売元のホームページでご案内しています。

それでもご不明な場合、以下の相談窓口にお問い合わせください。また、動作の不具合や故障に関するご相談の場合は、次のことをお知らせください。

- **型名：CRXP-90MU**
- **製造番号**
- **製品の購入年月日・ご購入店名**
- **ご使用のコンピューターメーカー・型番**
- **コンピューターの仕様（CPU速度、メモリー容量など）**
- **ご使用のライターソフトウエア**
- **不具合時の状態：できるだけ詳しく**
- **製品ご使用当初は問題がなかったか、最初からうまく動かなかったか、など**

ソニーストレージコール
TEL 0475-58-0931
受付時間
月〜金（祝日を除く）
10:00から18:00

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

ご注意

保証およびユーザーサポートは、添付の保証書に記載された国または販売地域においてのみ有効です。

アフターサービス

保証期間中の修理は

取扱説明書と保証書の記載内容に基いて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではCD-RW/DVD-ROMドライブの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、修理窓口にご相談ください。

修理のご依頼について

本製品の修理をご依頼の際は、製品本体、およびUSBケーブル、ACアダプターなどの付属品一式を、お買い上げ店やサービス窓口にご提供ください。

- 本製品は持ち込み修理対象製品です。故障その他の 理由でお買い上げ店やサービス・相談窓口に製品をご提供いただく場合、受け付けまたはご返却に関わる配送費用、製品の取り付けや取り外し、接続調整などの諸費用はすべてお客様のご負担となります。
- 本製品は、日本国内向け販売製品です。保証およびユーザーサポートは日本国内においてのみ有効です。

主な仕様

速度

書き込み速度
最大24倍速（CD-R）
最大10倍速（CD-RW）

読み出し速度
最大24倍速（CD-ROM）
最大8倍速（DVD-ROM）

ディスク

使用可能なディスク

CD-ROM	DVD-ROM
CD-ROM XA	DVD-Video
Photo CD	CD-DA
CD-RW	CD-R
ビデオCD	CD Extra（CD+）
CD TEXT	
ディスク径	12 cm 8 cm（CD-DA 読み出しのみ）

書き込み方式

トラックアットワンス
ディスクアットワンス
セッションアットワンス
パケットライト

ドライブ

データ転送レート
最大 :10800 Kバイト/s（DVD-ROM 8倍速[1]）

アクセス時間
平均（ランダムストローク）：160 ms

[1] 最大データ転送レートは、コンピューターの性能によって異なります。

バッファーアンダーランエラー防止機能

Power-Burn™ テクノロジー

環境条件／保存環境

動作温度
5 ℃〜35 ℃

電源・その他

電源
外部電源ジャック　定格5 V
ACアダプター（AC-CRX85）
定格入力　AC100 V-240 V

消費電力
約5.5 W

大きさ
約129×19×134 mm（幅／高さ／奥行き）

質量
約260 g（本体のみ）

インターフェース

ドライブインターフェース
USB2.0準拠*
* USB2.0準拠の付属USBケーブルを使用してコンピューターと接続。

バッファ容量

8 Mバイト

“ メモリースティック ”スロット

書きこみ速度
最大　1.5 Mバイト/s

読み出し速度
最大　2.45 Mバイト/s

* 最大書きこみ／読み出し速度は、コンピューターの性能や使用する“ メモリースティック ”の種類によって異なります。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

以降の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐに修理窓口、または販売店にご連絡ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

❶ 電源を切る
❷ 電源コードやACアダプター、USBケーブルを抜く

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

⚠注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

電源コード・ACアダプター取り扱いのご注意

- プラグについたホコリなどは定期的に取りのぞく
- ぬれた手で触らない
- プラグは根元までさしこむ
- たこ足配線をしない
- 雷が鳴り出したら触らない

注意

割れたディスクやヒビの入ったディスクを使用しない

高速回転時に内部でディスクが破壊されて破片が飛び出し、けがの原因となります。

禁止

パソコンに接続するとき、移動させるとき、長時間使用しないときは電源コードやACアダプターを抜く

接続したまま移動させると、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
長時間使用しないときは、安全のために電源コードやACアダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

⚠警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

火災　感電

電源コードやACアダプターを傷つけない

電源コードやACアダプターを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 加工・分解したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。

万一、電源コードやACコードが傷んだら、修理窓口、または販売店に交換をご依頼ください。

禁止

直射日光のあたる場所や、熱気、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。

禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、修理窓口、または販売店にご依頼ください。

内部を開けない

開けたり改造したりすると、レーザー光線による視力障害や、火災、感電の原因となることがあります。内部の点検、修理は修理窓口、または販売店にご依頼ください。

分解禁止

付属の電源コードやACアダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

禁止

CRXP-90MUの“ メモリースティック ”挿入口に異物を入れない

発煙・火災の原因となることがあります。

禁止

レーザー安全基準について

この装置は、レーザーに関する安全基準（IEC60825-1）クラス1適合のCD-RW/DVD-ROMドライブです。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- Power-Burn、および Power-Burn™ はソニー株式会社の商標です。
- “ メモリースティック ”および MEMORY STICK™ はソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、MS、MS-DOSおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国Apple Computer Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

本機をお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピューターに添付のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

- □ 弊社による製品保証は、同梱付属品（ソフトウエア含む）を使用し、指定または推奨するシステム環境を満足し、かつ取扱説明書に従う正常なご使用の場合において、CD-RW/DVD-ROMドライブ本体に限り有効です。また、ユーザーサポートなどの弊社サービスについても、製品保証と同等の使用条件に限り対応致します。
- □ 本製品のご使用による、コンピューター本体や他の機器の不具合、特定のハードウエア・ソフトウエア・周辺機器に対する適性、またインストールされたソフトウエア相互の適正などに起因する動作障害、データやディスクの損失、あるいは他の偶発的または必然的な損害に対しては、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- □ 本製品は、日本国内向け販売製品です。保証およびユーザーサポートは日本国内においてのみ有効です。
- □ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- □ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- □ 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- □ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

著作権にご注意ください

CD-R／CD-RWディスクにデータを書き込む前に、その行為が著作権法に違反していないかを確認してください。多くのソフトウェアは、その所有者に対してバックアップや保管のためのコピーが許可されています。詳細については、コピー元のソフトウェアの使用許諾書などでご確認ください。